



メガソーラー(広島県 因島工場 1.5MW)

# 2013年度第2四半期 決算説明会



日立造船株式会社

平成25年11月1日

Hitz日立造船株式会社

取締役社長兼COO 谷所敬

1. 2013年度第2四半期連結決算概況
2. 2013年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 中期経営計画「Hitz Vision」の進捗状況

- 第2四半期の営業利益は採算の良い工事の売上が減少したことにより、赤字となったこと
- 年間では、環境・プラント部門のAOM\*の利益増加、インフラ部門の構造改革、および売上増による固定費回収増加により、当初計画の利益を確保していくこと

(\* )AOM: After service, Operation, Maintenance

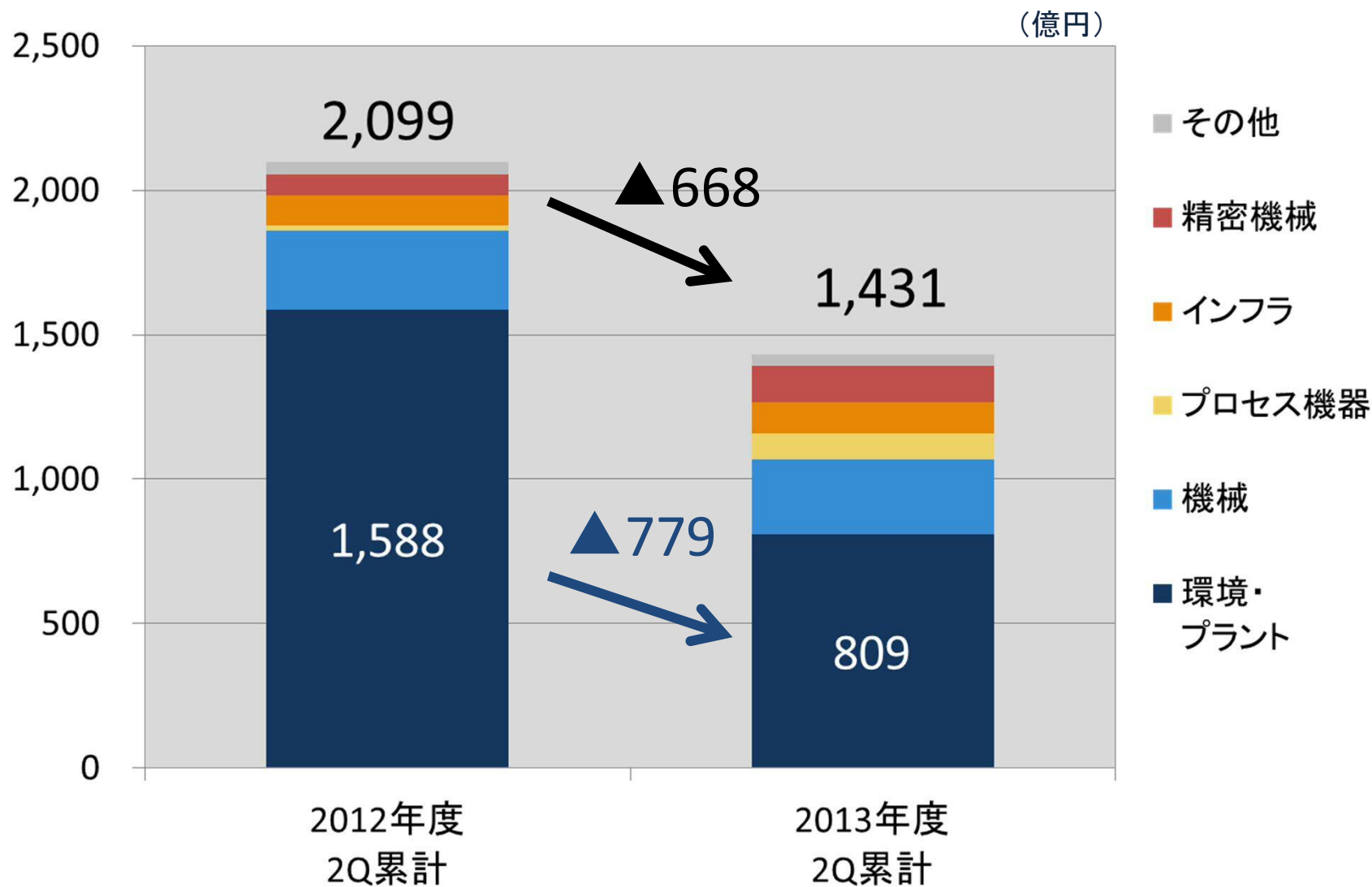
# 1. 2013年度第2四半期 連結決算概況

# 2013年度2Q決算 実績サマリー

(億円)

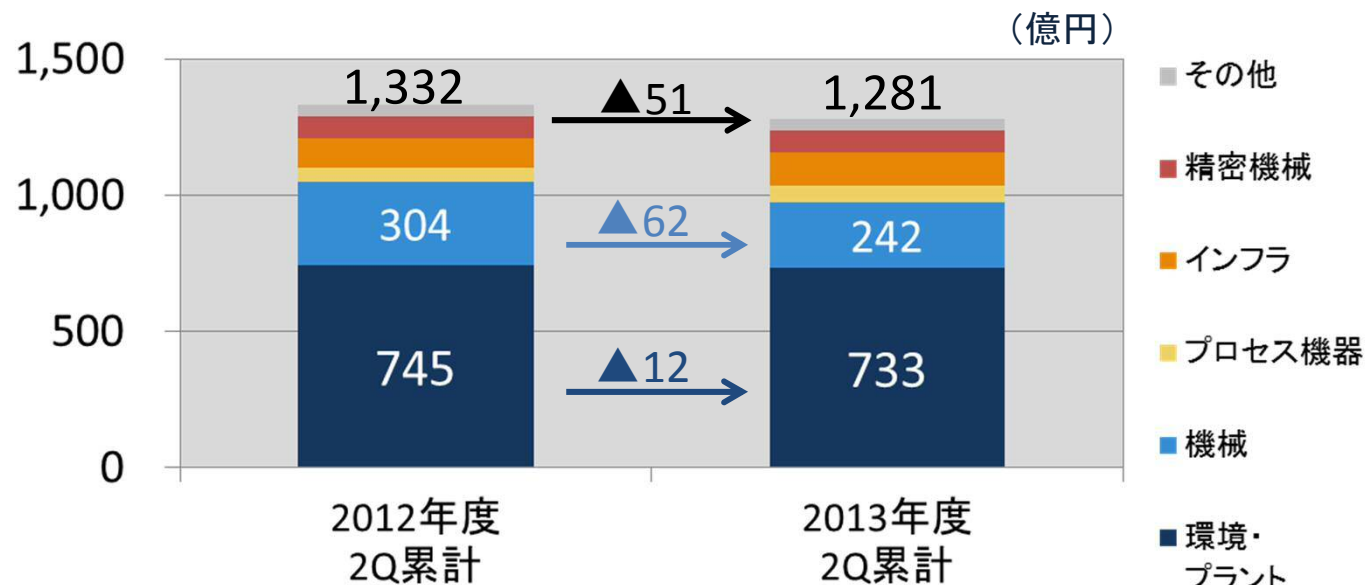
	2012年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	比較
受注高	2,099	1,431	▲668
売上高	1,332	1,281	▲51
営業利益	18	▲37	▲55
(営業利益率)	1.4%	▲2.9%	▲4.3%
営業外損益	2	▲1	▲3
経常利益	20	▲38	▲58
(経常利益率)	1.5%	▲3.0%	▲4.5%
特別損益	▲8	—	8
税金費用・ 少数株主利益	▲4	▲2	2
四半期純利益	8	▲40	▲48
(四半期純利益率)	0.6%	▲3.2%	▲3.8%

# 2013年度2Q決算 受注高

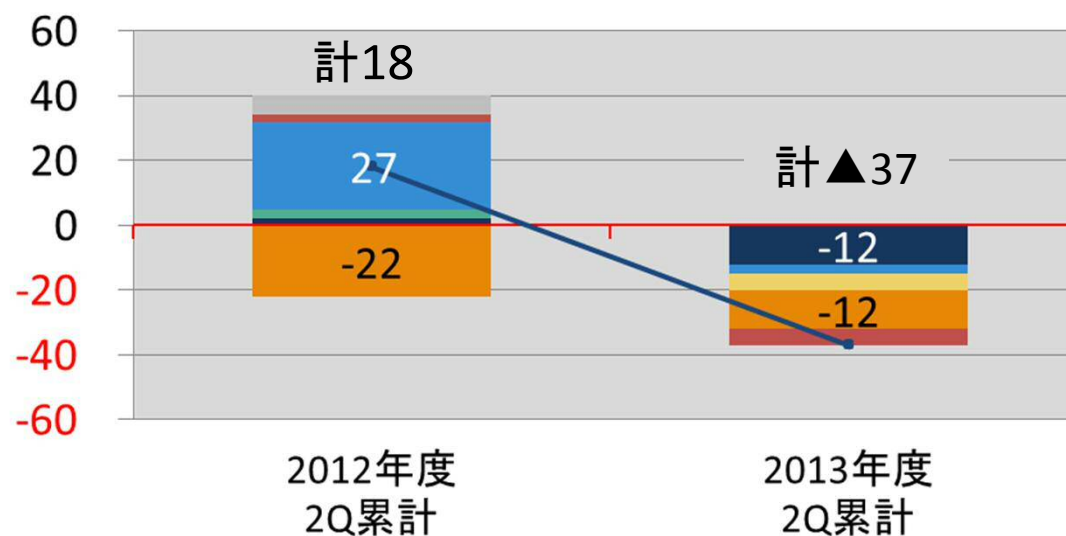


# 2013年度2Q決算 売上高と営業利益

## ■売上高



## ■営業利益



# 2013年度2Q決算 セグメント別

		環 境 ・ プ ラ ン ト	機 械	機 器 プ ロ セ ス	機 器 イ ン フ ラ	精 密 機 械	そ の 他	計
2013年度 2Q累計	受注高	809	261	90	105	126	40	1,431
	売上高	733	242	62	120	82	42	1,281
	営業利益	▲12	▲3	▲5	▲12	▲5	0	▲37
2012年度 2Q累計	受注高	1,588	271	19	104	74	43	2,099
	売上高	745	304	50	112	78	43	1,332
	営業利益	5	27	0	▲22	2	6	18
比較	受注高	▲779	▲10	71	1	52	▲3	▲668
	売上高	▲12	▲62	12	8	4	▲1	▲51
	営業利益	▲17	▲30	▲5	10	▲7	▲6	▲55



# 2013年度2Q決算 営業損益増減内訳

		(億円)
<b>2012年度2Q 営業損益</b>		<b>18</b>
<b>増減内訳</b>	売上高減(▲51億円)	▲8
	環境・プラント部門 採算の良い案件の減少	▲21
	機械部門 工事の利益率低下	▲24
	精密機械部門 個別工事の利益減少	▲7
	コストダウン等	5
<b>2013年度2Q 営業損益</b>		<b>▲37</b>

# 2013年度2Q決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

	2012年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	比較
金 利 負 担 額	▲6	▲5	1
受 取 配 当 金	1	1	0
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	9	▲8	▲17
そ の 他 営 業 外 損 益	▲2	11	13
<b>営業外損益 計</b>	<b>2</b>	<b>▲1</b>	<b>▲3</b>

特別損失	厚生年金基金 脱退拠出金	▲8	—	8
<b>特別損益合計</b>		<b>▲8</b>	<b>—</b>	<b>8</b>

# 2013年度2Q決算 キャッシュフロー・有利子負債

(億円)

項 目		2012年度 2Q累計	2013年度 2Q累計	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	81	▲41	▲122
	投資活動によるキャッシュフロー	▲34	▲18	16
	財務活動によるキャッシュフロー	▲194	▲60	134
	現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲146	(注1) ▲110	36
	現金・現金同等物の期首残高	666	564	▲102
	現金・現金同等物の期末残高	(注2) 521	(注2) 454	▲67

(注1)為替換算差額含む(2012年度2Q:+1、2013年度2Q:+9)

(注2)その他増加減少額含む

(億円)

項 目		2013年 3月末	2013年 9月末	比較
有利子負債	借 入 金	(注3) 926	(注3) 888	▲38
	社 債	100	100	0
	合 計	1,026	988	▲38

(注3)リース債務を含む。

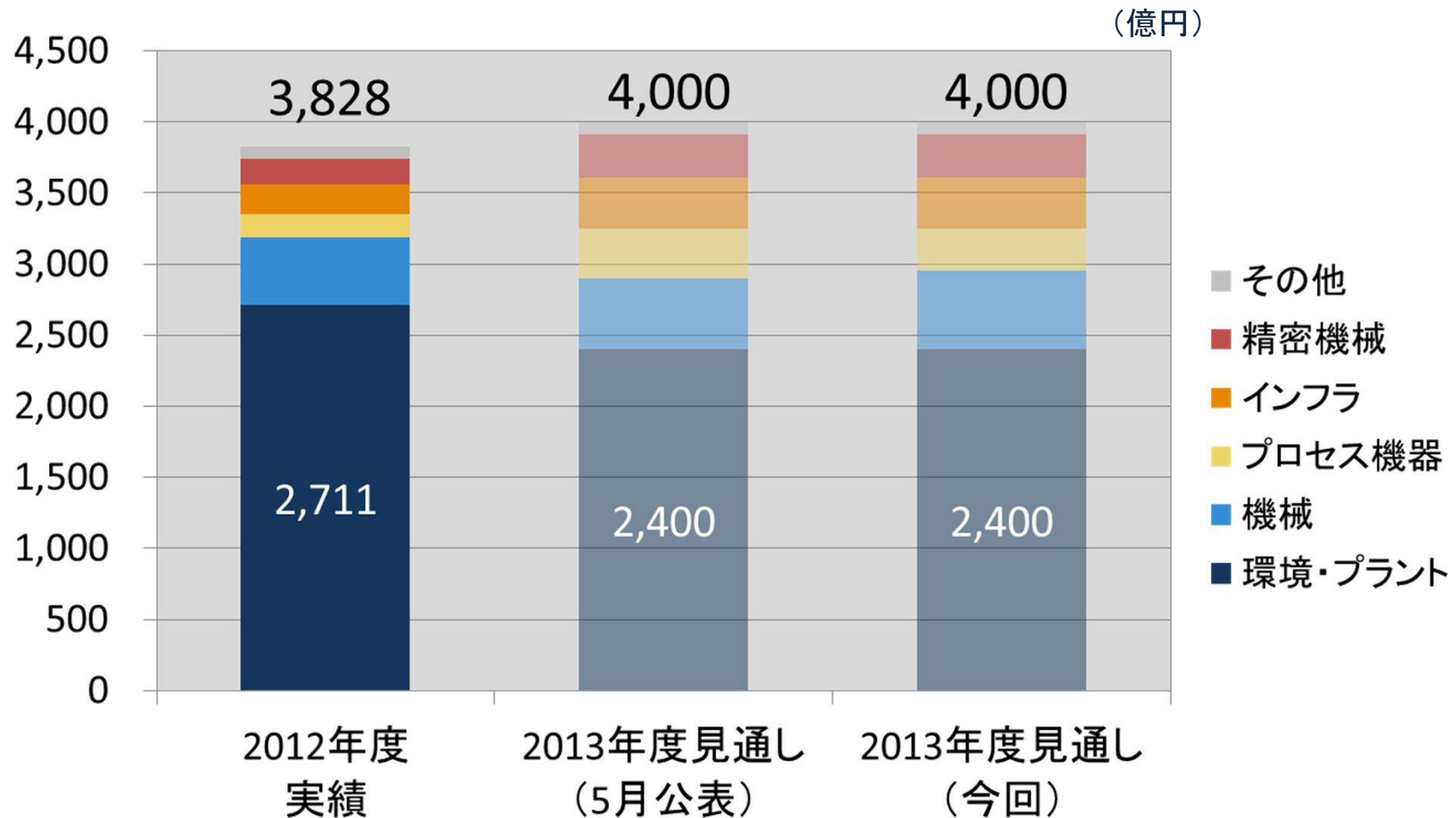
## 2. 2013年度業績見通し

# 2013年度見通し サマリー

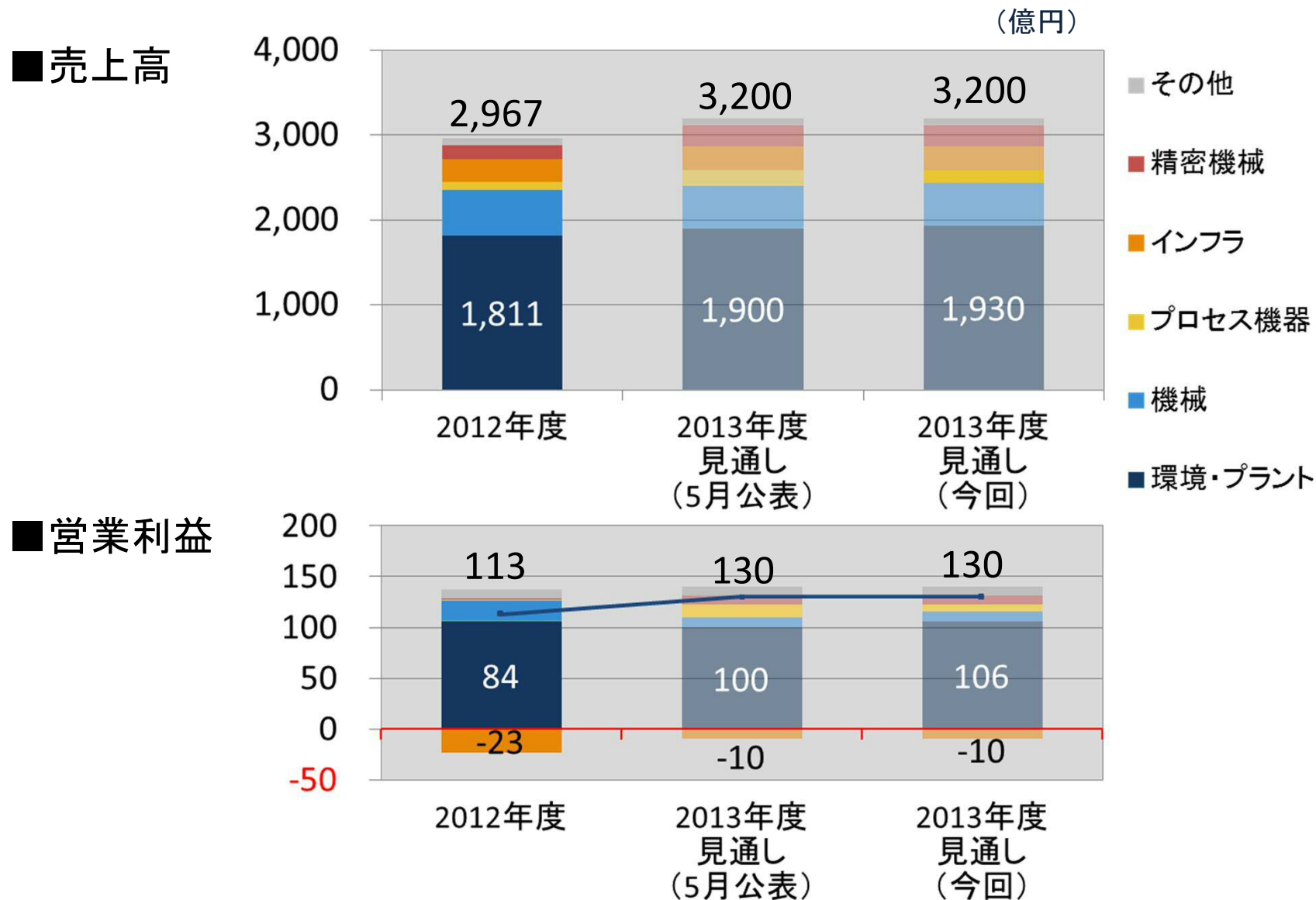
(億円)

	2012年度 実績	2013年度見通し		比較 今回・前年度
		(5月公表)	(今回)	
受注高	3,828	4,000	4,000	172
売上高	2,967	3,200	3,200	233
営業利益	113	130	130	17
(営業利益率)	3.8%	4.1%	4.1%	0.3%
経常利益	112	100	100	▲12
(経常利益率)	3.8%	3.1%	3.1%	▲0.7%
当期純利益	74	75	75	1
(当期純利益率)	2.5%	2.3%	2.3%	▲0.2%

# 2013年度見通し 受注高



# 2013年度見通し 売上高と営業利益

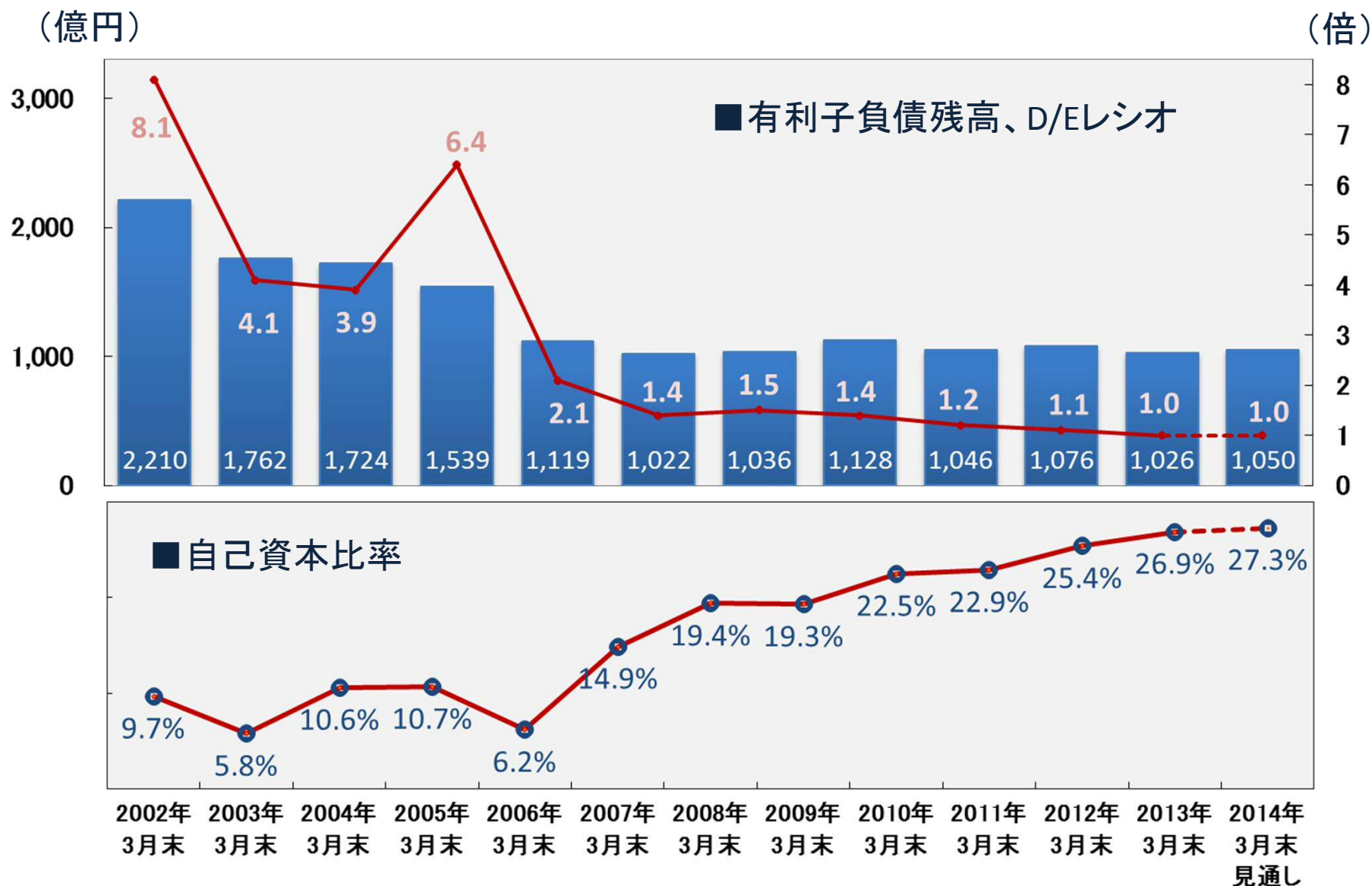


# 2013年度見通し セグメント別

		環境	プラント	機械	プロセス	機器	インフラ	精密機械	その他	計
2013年度 見通し	今回	受注高	2,400	550	300	360	300	90	4,000	
		売上高	1,930	500	160	280	240	90	3,200	
		営業利益	106	10	7	▲10	8	9	130	
	5月公表	受注高	2,400	500	350	360	300	90	4,000	
		売上高	1,900	500	190	280	240	90	3,200	
		営業利益	100	10	13	▲10	8	9	130	
2012年度 実績	受注高	2,711	475	163	209	183	87	3,828		
	売上高	1,811	537	101	265	167	86	2,967		
	営業利益	106	19	1	▲23	1	9	113		



# 有利子負債残高、自己資本比率の推移

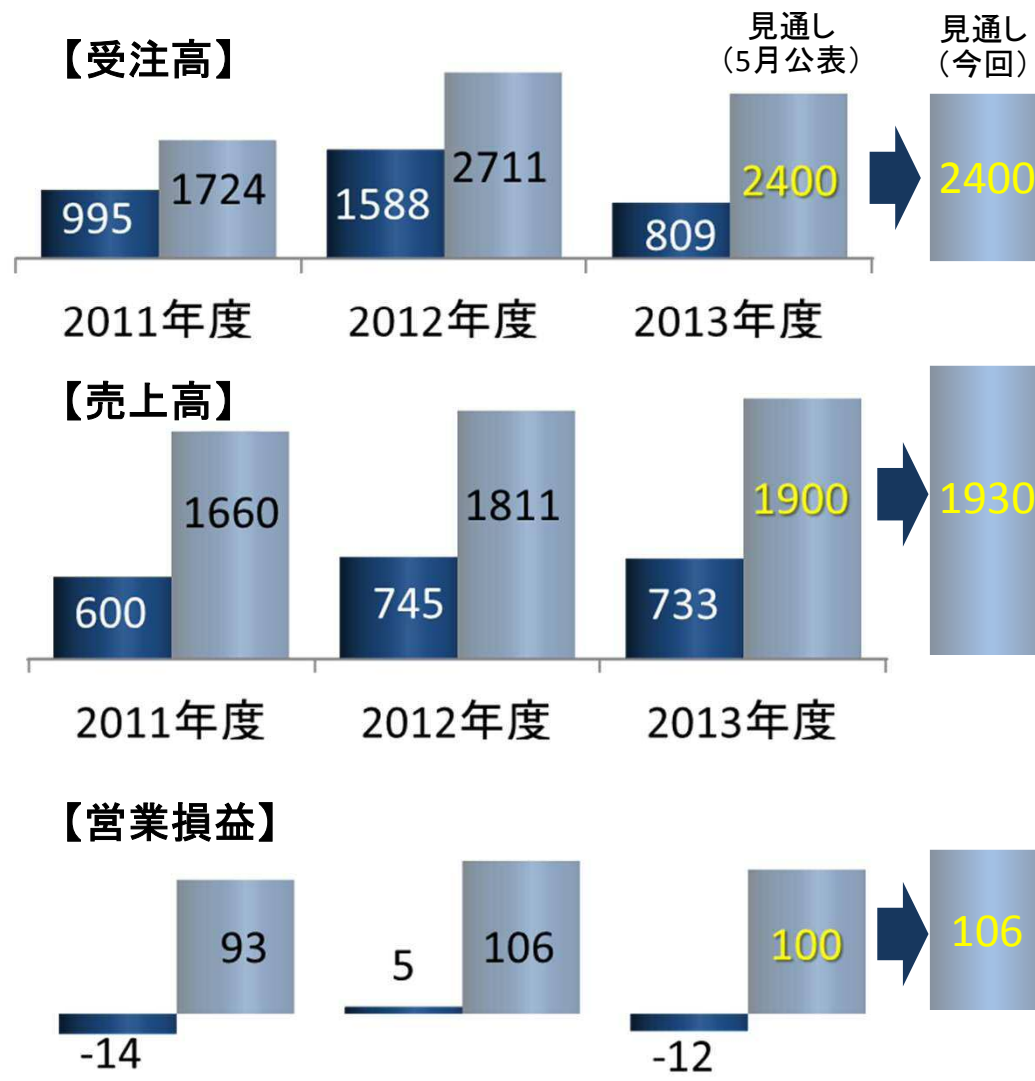


### 3. セグメント別詳細

# 環境・プラント部門

(億円)

■ 2Q累計 ■ 年度



## 【受注高】

### ■ 2Q実績(前年2Q比)

▲779億円減少の809億円

- ・新設工事、長期運営工事の減少
- ・案件が下期に偏っている

### ■ 年間見通し(5月公表比)

変化なしの2,400億円

- ・2Q実績の進捗は低いが、下期大口新設工事 2件確定、1件内定

## 【売上高/営業損益】

### ■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: ▲12億円減少の733億円

営業損益: ▲17億円減少の▲12億円

- ・採算の良い案件の減少

### ■ 年間見通し(5月公表比)

売上高: 30億円増加の1,930億円

営業利益: 6億円増加の106億円

- ・アフターサービス等により増加
- ・2Qの進捗度は予定どおり

# 機械部門

■ 2Q累計 ■ 年度

## 【受注高】



(億円)

## 【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

▲10億円減少の261億円

■ 年間見通し(5月公表比)

50億円増加の550億円

・自動車業界向けプレス機械の好調が継続

## 【売上高】



## 【売上高/営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: ▲62億円減少の242億円

・船用原動機の減少

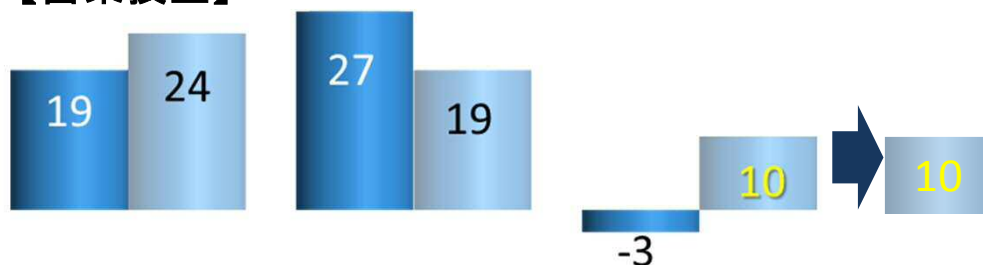
営業損益: ▲30億円減少の▲3億円

・船用原動機の売上高減少および工事の利益率低下

■ 年間見通し(5月公表比)

売上高・営業損益ともに変更なし

## 【営業損益】



# プロセス機器部門

(億円)



## 【受注高】

### ■ 2Q実績(前年2Q比)

71億円増加の90億円

- ・リアクターの増加
- ・NAC社の新規連結

### ■ 年間見通し(5月公表比)

▲50億円減少の300億円

- ・GTLリアクター大口案件の時期ずれ

## 【売上高/営業損益】

### ■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: 12億円増加の62億円

- ・リアクターの増加

営業損益: ▲5億円減少の▲5億円

- ・NAC社のれん償却等

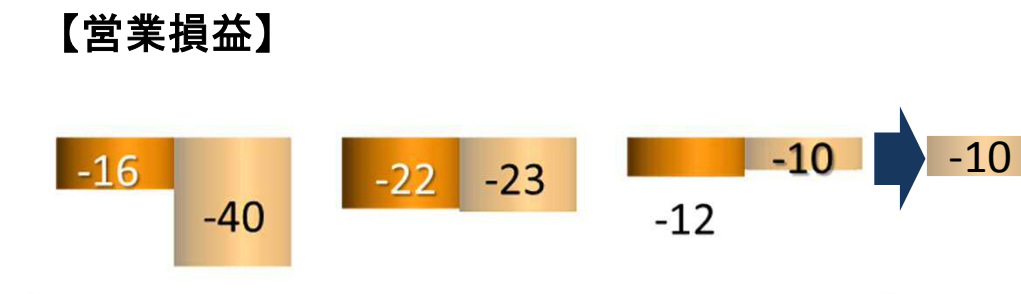
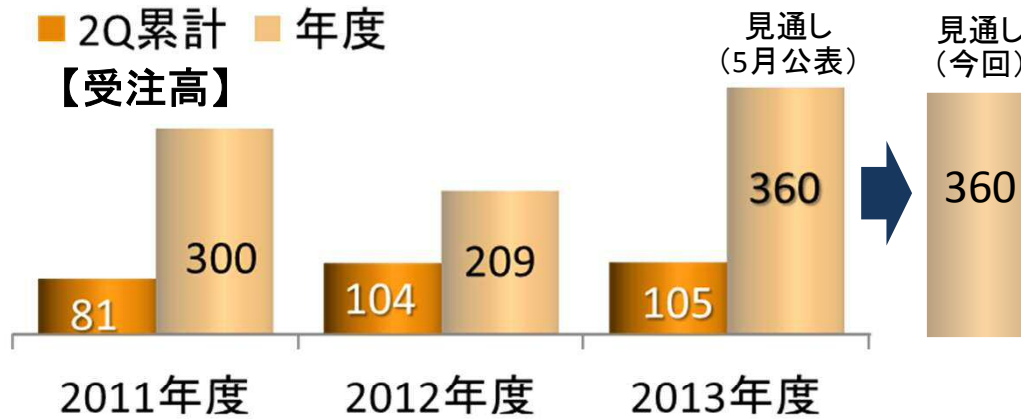
### ■ 年間見通し(5月公表比)

売上高: ▲30億円減少の160億円

営業損益: ▲6億円減少の7億円

- ・大口GTL案件の製作開始遅れ、および受注時期ずれ

# インフラ部門



**【受注高】**

- 2Q実績(前年2Q比)  
横ばいの105億円
- 年間見通し(5月公表比)  
変更なしの360億円  
・下期に津波対策用水門、フラップゲート等の案件を見込む

**【売上高/営業損益】**

- 2Q実績(前年2Q比)  
売上高: 8億円増加の120億円  
・シールド減少も、煙突と水門で増加
- 営業損益: 10億円改善の▲12億円  
・シールド利益率改善  
・煙突・水門の売上高増加による
- 年間見通し(5月公表比)  
売上高・営業損益ともに変更なし

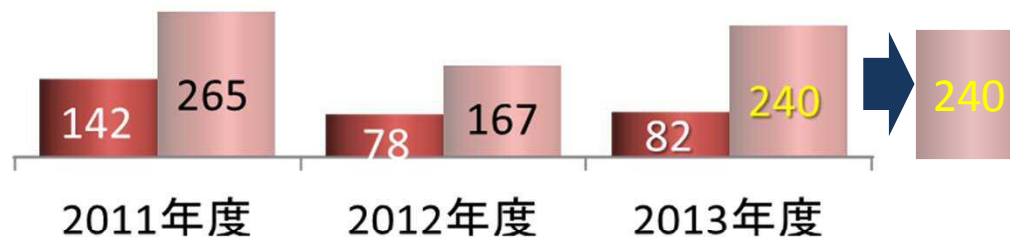
(億円)

# 精密機械部門

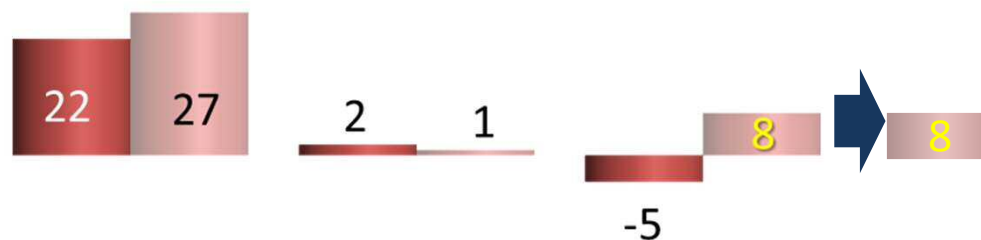
■ 2Q累計 ■ 年度



**【売上高】**



**【営業損益】**



(億円)

**【受注高】**

■ 2Q実績(前年2Q比)

52億円増加の126億円

- ・医薬・食品業界向け充填設備
- ・液晶製造関連設備

■ 年間見通し(5月公表比)

変更なしの300億円

**【売上高/営業損益】**

■ 2Q実績(前年2Q比)

売上高: 4億円増加の82億円

営業損益: ▲7億円減少の▲5億円

- ・個別工事の利益減少

■ 年間見通し(5月公表比)

売上高・営業損益ともに変更なし

## 4. 中期経営計画「Hitz Vision」 の進捗状況



# 中期経営計画「Hitz Vision」重点施策

事業の イノベーション	◆ 伸長分野の明確化		事業ドメインと事業マーケットの明確化
	◆ 事業伸長力の強化	◆ 海外事業展開力	事業企画本部の新設 海外拠点の拡充・整備
		◆ ソリューション提案力	顧客視点活動の推進 新開発体制への移行
	◆ 基礎的収益力向上		バランス経営の推進
	◆ 各事業NO.1収益力		事業戦略のPDCAの徹底
経営管理の イノベーション	◆ 経営体制	フラット・マトリックス経営体制の推進	
	◆ 財務体質	2013年度までに自己資本比率30% 外部格付けの向上	
	◆ 将来収益につながる開発	新研究開発体制(開発本部) 事業企画本部と開発本部の連携	
	◆ 風土改革と人材育成	外向きで成長志向かつ業務の効率を重視する 企業風土の確立 業務・事業に主体的に取り組む人材を育成	

# 中期経営計画の進捗状況について

## 1. グリーンエネルギー分野

- ①EfW事業
- ②再生可能エネルギー事業(メガソーラー、バイオマス)

## 2. 社会インフラ整備と防災分野

プロセス機器 海外製造拠点の拡大

## 3. 海外拠点拡充の状況

ミャンマー現地法人設立 / ベトナム設計子会社拡大

## 4. 新製品開発

- ①分離膜(ゼオライト膜)
- ②太陽熱発電用実証プラント
- ③高速海底浸透取水

## 5. 「Hitz Vision」計数計画の進捗状況

# 1. グリーンエネルギー分野(1)

## ①EfW事業 (Energy from Waste)

### ■受注大口案件(10月末時点)

#### 国内

#### <新設工事>

- ・京都市\* 建替新設工事(500t/日(250t/日×2))、発電能力14MW  
バイオガス化プラント(60t/日(30t/日×2))、発電能力1MW

#### <延命・改修>

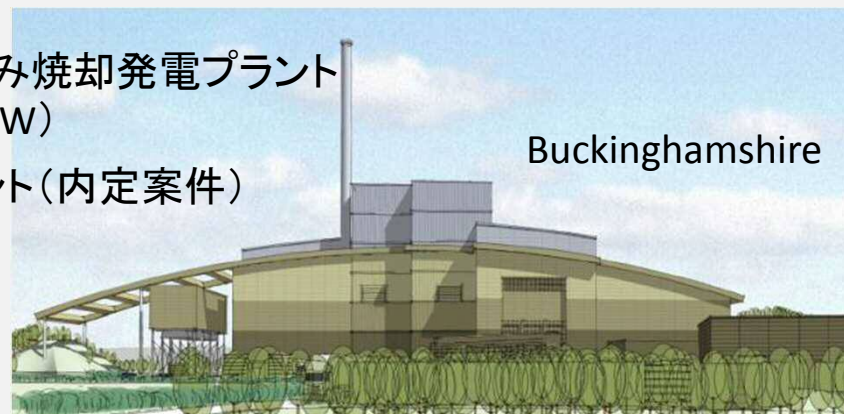
- ・倉敷市 基幹延命化工事(300t/日(150t/日×2))  
発電能力1.9MW→3.4MW
- ・香取広域 基幹延命化工事(135t/日(45t/16h×3))

#### <長期運営>

#### 海外

- ・倉敷市(21年間)
- ・田村広域(8年間)

- ・イギリス\* **Buckinghamshire都市ごみ焼却発電プラント**  
(Inova) 建設工事(900t/日、22MW)
- ・イギリス\* 都市ごみ焼却発電プラント(内定案件)  
(Inova) 建設工事(1,162t/日)



(\*)下期受注案件

# 1. グリーンエネルギー分野(2)

## ②再生可能エネルギー事業

### ■メガソーラー

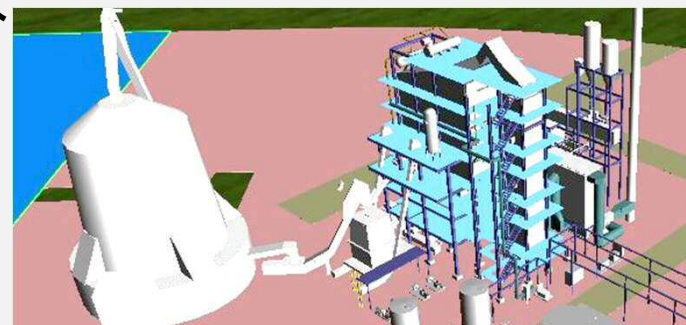
- ・因島の弊社保有遊休土地に1.5MWメガソーラー： 電力供給開始  
年間発電量： 171.8万kWh 、20年間運営



- ・内海造船向け1.0MWメガソーラー： 12月末完成予定  
年間発電量： 131.7万kWh 、20年間運営
- ・メガソーラーのEPC事業・運営事業に参入

### ■バイオマス発電

- ・5.8MW木質バイオマス発電所：  
2015年3月完成予定(20年間運営)  
未利用木材を燃料として有効利用





## 2. 社会インフラ整備と防災

### プロセス機器 海外製造拠点を拡大

#### ■ **中国**プロセス機器・水処理装置製造工場が竣工



**那賀日造設備(大連)有限公司**  
遼寧省大連、建築面積9,900㎡

#### ■ **インド**合弁会社へ 増設設備投資を決定

##### **ISGEC Hitachi Zosen Ltd**

プロセス機器生産能力1.6倍

(8,000t → 13,000t)

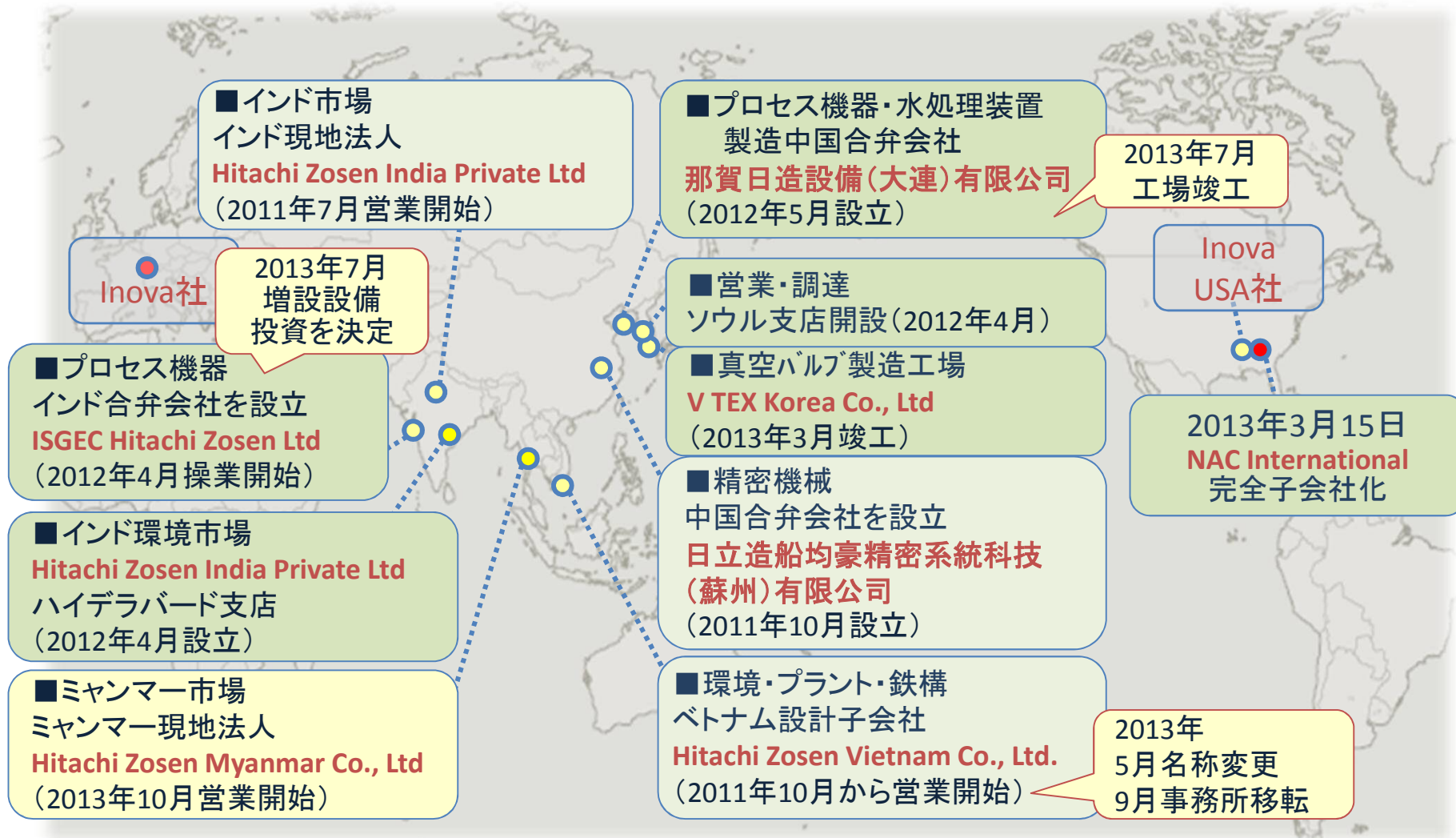
総額約11億円

2014年6月完成予定



プロセス機器工場

### 3. 海外拠点拡充の状況(1)



#### ■ 中期経営計画2011年～現在までの取組

2011年度

2012年度

2013年度

### 3. 海外拠点拡充の状況(2)

#### ■ミャンマー現地法人の設立

インフラ整備市場で事業活動を開始

**Hitachi Zosen Myanmar Co., Ltd**

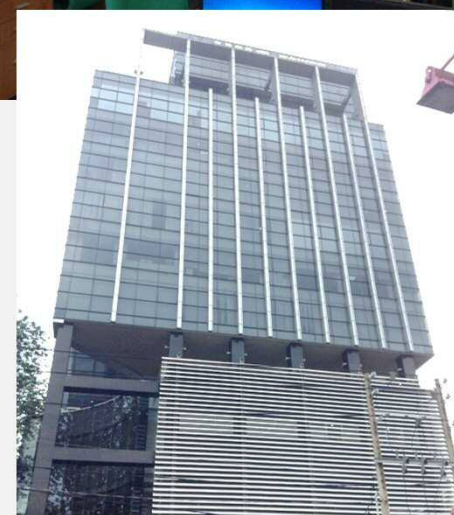


#### ■ベトナム現地法人の増強

エンジニアリング機能の拡充

新事務所への移転

**Hitachi Zosen Vietnam Co., Ltd.**





## 4. 新製品開発(1)

### ①分離膜(ゼオライト膜HDS®)

#### ■実証実験

石油化学工場の蒸留工程で

**50%以上の省エネ可能、200時間連続運転達成**

Hitz  
分離膜

- ・耐水性の向上
- ・長尺化に成功

#### NEDOプロジェクト

- ・早稲田大学
- ・JX日鉱日石エネルギー(株)
- ・日立造船(株)
- ・三菱化学(株)
- ・千代田化工建設(株)
- ・(株)ノリタケカンパニー



#### ■量産化実験を開始

大型サイズ(直径25mm、長さ1.7m)1500本/月の量産化設備

用途: バイオエタノール及びその他各種溶剤の脱水



## 4. 新製品開発(2)

### ②太陽熱発電用実証プラント

#### ■サウジアラビアに太陽熱発電用実証設備完成

太陽熱発電 ⇒海水淡水化プラントの電力として活用

★特徴: 太陽光を反射鏡により集めて熱源とし、高温蒸気を生成して発電

★メリット: 蓄熱による夜間発電が可能

Hitzの超低設置フレネル式太陽光集光装置(HSLPF)

- ①反射鏡の角度・曲面を制御 →集光倍率の向上
- ②集熱管の低位設置 →耐風強度・メンテナンス性の向上

HSLPF:  
Hitz Super Low  
Profile Fresnel CSP



## 4. 新製品開発(3)

### ③高速海底浸透取水

#### ■ アブダビに高速海底浸透取水方式(HiSIS®)実証設備 (2014年予定)

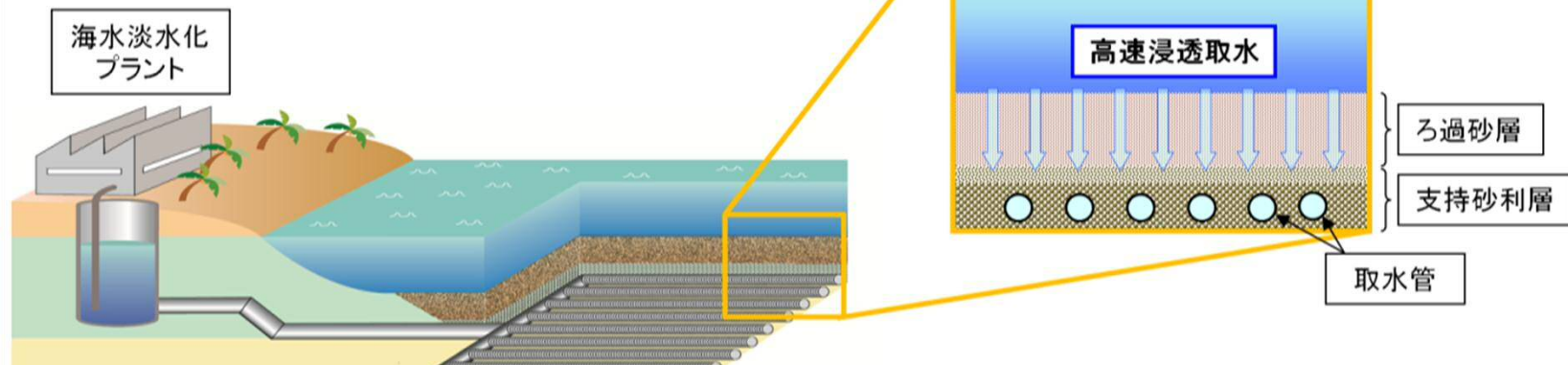
逆浸透膜法海水淡水化:

消費電力が小さいが、膜目詰まりや前処理薬品による環境負荷に課題

#### 高速海底浸透取水方式(HiSIS®)の特徴

- ①浸透取水エリアの狭小化 →イニシャルコストの低減
- ②海洋生物の発生、前処理薬剤の使用量、膜の微生物繁殖を抑制  
→ランニングコストの低減、環境負荷の低減

HiSIS®:  
High-speed Seabed  
Infiltration System



## 5. 「Hitz Vision」計数計画の進捗状況

(億円)

	2011年度			2012年度			2013年度	
	Hitz-V 計画	実績	達成度	Hitz-V 計画	実績	達成度	Hitz-V 計画	見通し
受注高	3,700	2,897	78.3%	4,400	3,828	87.0%	5,000	4,000
売上高	3,100	3,030	97.7%	3,400	2,967	87.3%	4,000	3,200
営業利益 (営業利益率)	140 (4.5%)	113 (3.7%)	80.7%	155 (4.6%)	113 (3.8%)	72.9%	200 (5.0%)	130 (4.1%)
経常利益 (経常利益率)	130 (4.2%)	107 (3.5%)	82.3%	135 (4.0%)	112 (3.8%)	82.3%	160 (4.0%)	100 (3.1%)
当期純利益	100	93	93.0%	105	74	71.5%	115	75
有利子負債 残高	1,144	1,076	—	1,000	1,026	—	1,000	1,050
自己資本 比率	24.2%	25.4%	—	29.1%	26.9%	—	30.0%	27.3%